TOCHIKEN

TOCHIKEN No.217 けんせつ Jan.2025

「栃木県立足利高等学校」（撮影日令和６年９月９日）

新年のご挨拶 ……❶
（一社）栃木県建設業協会 会長
栃木県知事
栃木県議会議長
（一社）全国建設業協会 会長

特集 新春支部長挨拶 ……❺

令和6年度 国土交通省関東地方整備局との意見交換会…❿
令和6年度「栃木県建設雇用改善推進大会」を開催 ……⓫
関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会…⓭
〈栃木県建設業協会青年経営者連合会〉

大規模地震災害に備えて
～「栃木県道路啓開計画」の策定～
〈栃木県 県土整備部〉……⓮
労働基準法第33条及び同法第139条について
～建設業における時間外労働上限規制の特例～
〈栃木労働局〉……⓯
税務署からのお知らせ ……⓰
Topics ……⓱
続・とちぎのサムライvol.31 ……㉝
全国津々浦々 お城めぐりの旅
インフォメーション ……㉟

一般社団法人 栃木県建設業協会

新年のご挨拶

年　頭　所　感

一般社団法人 栃木県建設業協会
会長 谷　黒　克　守

新年明けましておめでとうございます。令和７年の年頭に当たり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。会員の皆様におかれましては、日頃から当協会の活動に深いご理解と一方ならぬご協力・ご支援を頂戴しており、誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年１月１日に最大震度７の能登半島地震が発生いたしました。この地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

その他、台風などの自然災害が日本全国の広い範囲に深刻な傷跡を残しました。南海トラフ地震、首都直下地震などの発生も懸念される中、激甚化・頻発化する自然災害から国民生活を守り抜くために、改めて広域的支援と本県の役割について考え、首都バックアップ機能の確保を推進し、広域道路網の整備などあらゆる機会をとらえて今後も関係機関に働きかけて参ります。

一方で、今日の社会情勢に目を転じますと、少子高齢化に伴う入職者の減少や若者の建設業離れが顕在化・深刻化しており、建設業を担う人材の確保と定着、育成が重要な課題となっております。

このようなことから、昨年４月から建設業にも適用された時間外労働規制への対応をはじめとした「働き方改革」へ積極的に対応するなどして、魅力ある業界へと進化をさせていかなければなりません。皆様におかれましては、さらに実のある雇用改善に取り組まれ、若者から選ばれる業界となるようご期待申し上げます。

また、若い担い手確保につなげていくため、当協会では、広報活動を通した建設業のイメージアップを推進しております。

県内の高校生を対象とした、会員企業への就業に結びつくようインターンシップ事業に取り組むとともに、県内高校生約 200 名以上が参加する「とちぎ建設業合同企業説明会」の開催や、さらには、小学生親子を対象とした、職業体験「建 FES GO ！」を一昨年に引き続き昨年 10 月に開催したところ、多くの方々にご参加いただき大変好評を博しました。その他、中学生等を対象とした県主催事業の「とちぎ子どもの未来創造大学」や、新たに「中学生職場体験」事業に取り組んでいるところであり、これらを通して引き続き、将来建設分野を目指そうとする、より多くの意識醸成を図って参りたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、今年の干支（えと）は「乙巳（きのとみ）」で、「努力を重ね、物事を安定させていく」という縁起の良い年といわれております。会員の皆様の益々のご発展とこれまでの努力が大きな実を結びますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

新年あいさつ

栃木県知事　福　田　富　一

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様から御支持をいただき、引き続き県政運営を担うこととなりました。県内各地で県民の皆様の切実な声やふるさと“とちぎ”に対する熱い思いをお伺いし、改めて知事としての責任の重さを実感しているところであります。今後とも、「対話と協調」、「県民中心」、「市町村重視」を徹底するとともに、「官民連携」を一層強化しながら、スピード感を持って、最大の成果が得られるよう、取り組んで参る決意であります。

さて、昨年は、まち・ひと・しごと創生法が施行され、地方創生の取組が本格化して10年の節目を迎えました。国におきましては、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置するとともに、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、これまでの取組の成果と反省を生かし、「地方創生2.0」として再起動させるとしております。

県といたしましては、こうした国の動きも踏まえながら、栃木の未来創生に向け、計画期間の最終年度を迎える栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略（第２期）」に掲げる各種施策を積極的に展開し、併せて、両計画を一本化した次期プランの策定を着実に進めて参ります。

特に、喫緊の課題である人口減少問題の克服に向けまして、官民連携による「栃木県人口未来会議（仮称）」を設置し、県や市町、関係団体、民間企業等が認識の共有や相互の連携を図りながら、結婚支援の充実や子育て環境の整備、働き方改革の推進などに取り組むことにより、県全体で実効性を高めて参りたいと考えております。

さらに、女性・若者の活躍を一層推進するほか、県内企業の持続的な賃上げを可能とする環境整備、生産性や品質の向上などを実現するスマート農業等を推進し、地域経済の発展・好循環につなげて参ります。また、令和６年能登半島地震に係る国の検証結果等を踏まえ、災害対応力の強化を図るとともに、人口減少局面においても全ての県民が便利で快適に暮らし続けることができる地域社会の実現に向け、デジタル技術を最大限に活用しながら、各種取組を進めて参ります。

加えて、県立美術館、図書館及び文書館につきましては、現在、「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する構想の策定を進めているところであります。新たな施設が本県の文化振興の中核として、将来にわたり県民に愛され、誰もが誇りに思える、とちぎならではの拠点となるよう、引き続き、丁寧に検討して参ります。

知事６期目の新たな年を迎えるに当たり、私自らがオールとちぎの先頭に立ち、「誰もが未来に夢や希望を持てる栃木」、「豊かさと幸せを実感できる栃木」の実現に向けて、全身全霊で取り組んで参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

年　頭　所　感

栃木県議会議長　日向野　義　幸

新年おめでとうございます。令和７年の年頭にあたり、県議会を代表し、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人栃木県建設業協会におかれましては、本県建設業界の発展に御尽力いただくとともに、日頃から社会貢献活動にも積極的に取り組まれており、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

栃木県議会は、明治12年に私の住む栃木市で産声を上げて以来、今日まで県政を支え、その歴史と伝統を紡いで参りました。私は、昨年３月、第111代栃木県議会議長に就任いたしましたが、その職責の重さに身の引き締まる思いでありました。

お陰をもちまして、二元代表制の一翼を担う県議会がその役割を確実に果たせるよう、公平公正で活発な議会運営に全力で取り組みながら、新年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のあたたかい御支援、御協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、県議会は、昭和22年に地方自治法施行後初めての定例会が開かれてから400回目となる会議を迎えました。これを記念して、「地方議会は議決により地方公共団体の重要な意思を決定する」という地方自治法改正により明確化された役割と責任をしっかりと受け止め、県民の負託に応え、ふるさととちぎの発展を図るため、地方自治の本旨である住民自治、団体自治の更なる実現に向けて全力を尽くすことを決議いたしました。

また、地方創生の取組が本格化して10年が経過し、今年、県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略（第２期）」が、計画期間の最終年度を迎えます。これまで以上に執行部との連携を図り、各種施策の総仕上げを県議会がしっかりと後押しいたします。さらに現在、令和８年度始期の次期プランについて検討会を設置し、様々な課題の克服と地方創生の実現に向けた検討を進めております。緊要な課題が山積しておりますが、本県の躍進に向けては、これらを変革のチャンスとして捉え、子どもたちが夢と希望を持ち、「栃木県に生まれてよかった」と思える明るい未来へとつながるよう、県民の皆様の御意見をしっかりと取り入れながら、新しいとちぎづくりの道しるべの策定に、執行部と共に鋭意取り組んで参ります。

さて、激甚化・頻発化する自然災害や想定される直下型地震への備えが重要となる中、県民の生命、財産、暮らしを守る大きな要となる皆様方に対する期待は、より一層高まるものと考えております。国では今後、これまでの時限的対策に代わる「国土強靱化実施中期計画」を策定し、防災・減災、国土強靱化に継続的・安定的に取り組むこととしており、県議会といたしましては、災害に強い地域づくりを推進して参りますので、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人栃木県建設業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

年　頭　所　感

一般社団法人 全国建設業協会
会長 今　井　雅　則

令和７年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

地域建設業を取り巻く環境は、昨年も資機材価格の高騰等の影響を大きく受けたほか、能登半島を襲った地震・豪雨の二重災害や日向灘地震など、全国各地で大規模な災害が発生し、土砂崩れや河川の氾濫等により多くの国民の生命・財産に甚大な被害をもたらした１年となりました。地球温暖化による豪雨・豪雪の増加、熱中症や感染症への懸念も深刻さを増しています。

地域建設業は、社会資本整備や維持管理の担い手として地方創生の中心的な存在であり、災害時には最前線で復旧・復興に取り組む「地域の守り手」としての使命を担っています。これらの社会的使命を担う建設業が存在し続けるためには、健全で安定した経営が必要であり、そのためには、見える化された安定的・持続的な事業量が必要です。そして、それを基にした経営の見通しが立つような長期的事業計画を持てることが不可欠です。

このため、全建といたしましては、公共事業費を含む令和７年度予算の早期成立とともに、引き続き、国土強靱化実施中期計画の早期策定や同計画における現加速化対策を大幅に上回る事業量の確保を求めてまいります。

また、将来の担い手確保のため、建設業で働く人々や建設業を目指す若者が、夢と誇りをもって活躍できる希望に満ちた、憧れの産業となるよう、“新４Ｋ”の実現に向け、処遇改善、働き方改革の推進や生産性の向上等を早急に進めることも重要です。

全建といたしましては、公共工事設計労務単価の一層の引上げと、建設業従事者の賃上げのための現場管理費、一般管理費の引上げを求めるとともに、昨年４月から時間外労働の罰則付き上限規制が建設業にも適用されたことも踏まえ、「２＋３６０（ツープラスサンロクマル）運動」、「目指せ！建設現場　土日一斉閉所運動」を進めるほか、ＩＣＴ・ＤＸの推進、広報活動等にも引き続き積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念し、また建設業が大きく飛躍することを願いまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

新春　支部長挨拶

宇都宮支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　野　澤　充　広

令和７年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当支部の活動に対しまして格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、８月には、支部会員が総力を挙げて整備に取り組んだ宇都宮ライトレールが開業１周年を迎え、11 月には、乗客数が 600 万人に達するなど、地域の移動手段として定着いたしました。

このような中で、ＬＲＴの宇都宮駅西側への延伸を控え、沿線の再開発事業などが動き出すとともに、栃木県におきましても、「文化と知」の創造拠点となる美術館や図書館などの再整備が動き出すなど、新たな街づくりが始まろうとしています。

当支部といたしましては、労働災害の根絶や働き方改革の推進などに努めるとともに、公共工事の受注産業としての自覚と誇りを持ち、引き続き地域の発展に寄与して参る所存でありますので、皆様のご支援、ご指導をお願いいたします。

結びに、皆様にとりまして、本年が、希望に満ちた明るい年となりますことを祈念申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。

宇都宮ライトレール開業一周年

鹿沼支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　宇賀神　　勝

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

2025 年を迎え、私たち鹿沼支部は、統合管理業務委託をはじめとする地域社会の発展と安全を守る「守り手」としての責任を一層感じております。災害時の対応をはじめ、地域インフラを支え、住民の生活環境や安全を守るとともに、地域の発展に貢献するため、今年も尽力してまいります。

また、働き方改革関連法が建設業に適用されて２年目を迎え、働き手不足や長時間労働の是正、女性や若者の活躍推進など、業界の課題は山積しています。これらの問題を解決するため、引き続き取り組んでまいります。

今年も地域社会に貢献し、業界の発展と働きやすい環境づくりに尽力してまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとって、2025 年がより良い一年となりますようお祈り申し上げます。

情報伝達訓練

水防訓練

総合学習支援活動

新春 支部長挨拶

日光支部　令和７年　新春の抱負

支部長　榎　本　美　明

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年２月に支部長に就任してから早いもので10カ月が過ぎました。就任当初から総会や各種会議・イベント、支部を取り巻く諸問題等が目白押しであり、慌ただしい日々を過ごしました。

支部の主な事業としては、昨年10月５日に『とちぎ子どもの未来創造大学』を実施し、日光市内の小中学生を対象に、建設業の仕事についてパワーポイントを使って説明し、ドローンやバックホウの操作体験、高所作業車の搭乗体験を行い、建設業の魅力をアピールしました。

また、11月には支部の業務をPRするため、オモテ面に除雪状況写真、裏面に支部会員名を記した除雪カードを作成し、一般の方にも窓口で配布を始めたところ、予想以上に好評であり、増刷しました。

なお、３年後の令和10年が支部創設80周年となるため、記念事業として会館建設、記念誌発行、記念式典の実施を予定しています。特に会館建設については、昨年、準備委員会を立ち上げ、検討を進めているところであり、計画どおり実施できるよう取り組みますので一般社団法人栃木県建設業協会はじめ関係機関の方々には、ご指導・ご支援をお願い申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

高所作業車で目視確認

除雪カード

芳賀支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　坂　野　　弘

新年あけましておめでとうございます。昨年は「芳賀建設会館」の落成、「支部創立100周年記念式典」と協会をはじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。また、「とちぎ子どもの未来創造大学」に初めて参加いたしました。建設業を理解してもらうためには、絶好の機会であることを実感したところです。そこで今年は、創立100周年記念事業として、地元にお住まいの親子を対象とした体験型の現場見学会の開催を考えています。お子さんには建設業の楽しさや面白さを、親御さんには建設業の社会的使命を伝えられればと思います。芳賀支部は１月27日に支部創立100周年を迎えます。今年を次の100年に向けた新たな出発点とし、進化を遂げるべく決意を新たに支部員一同、総力を結集し「地域の創り手」、「地域の守り手」として地域に暮らす人々がいつまでも安心して豊かに暮らせる県土づくりに尽力してまいります。これからも芳賀支部をよろしくお願いいたします。

とちぎ子どもの未来創造大学（令和6年10月19日）

新しくなった芳賀建設会館（令和6年11月落成）

新春 支部長挨拶

下都賀支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　齋　藤　和　実

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年早々、能登半島で震度７の地震・津波が発生しました。また、最大震度５弱の地震が、福島県沖、茨城県南部、北部でも発生しており、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

私ども建設業協会では、地域の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」としての社会的使命を担っており、常に災害時の応急対策業務要請への即応体制を整え、円滑な災害対応・復旧の実現に貢献してまいります。

また、建設業の健全な発展向上を図るための雇用改善及び人材育成事業に取り組んでまいります。具体的には､若年入職者の確保育成といたしまして､建設現場の「現場見学会」の開催や「インターンシップ」「高校出前講座」を引き続き実施してまいります。また、労働災害ゼロを目指し、労働安全衛生法に基づく対策等の周知徹底を図り労働災害の防止を図ってまいります。

さらに、上記活動の拠点となる下都賀建設会館については、建築後 54 年が経過し、施設の老朽化、設備の劣化等の課題が生じていることから、現在、１.これからの 100 年地域と共存し、建設業のシンボルとなる建物　２.建設業の魅力を発信し、災害に対応した建物をコンセプトとして新下都賀建設会館の新築移転計画を進めております。

新下都賀建設会館建設予定地

本年も、建設業協会会員の皆様とともに、直面する様々な困難を乗り越え、建設業の価値を一層磨き上げながら、活力ある建設業協会の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

塩谷支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　岡　村　昌　仁

新年おめでとうございます。今年は支部長に就任して４年目になります。支部長としての仕事に慣れてはきましたが、まだまだ不十分であり、時間が経つことにより時間に流されることがないよう、積極的な気持ちをもって塩谷支部を一層活発化していきたいと思っております。

令和６年６月　水防及び地震情報伝達訓練風景

昨年の支部行事を振り返りますと、全員参加の下、６月に実施した水防情報と地震情報を組み合わせた情報伝達訓練のほか、９月に開催予定であった栃木県・矢板市総合防災訓練の準備活動があります。しかし、これは残念ながら台風により中止になってしまいましたが、多くの支部員の協力で準備が整い、各方面から感謝の言葉をいただきました。

大型土のう積工法設置訓練

今まで支部活動などにいろいろとご指導・ご助言いただいた支部員の皆様に感謝するとともに、やはりできるだけ多くの支部員さんに支部行事に楽しく気軽に参加していただいて、一層の交流や親睦を深め、支部の活性化をさらに促進させて一歩一歩より良い方向に進むことを目標に、今年も一年頑張っていきたいと考えております。

塩谷支部のさらなる飛躍を目指して、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和６年総合防災訓練準備　倒壊建物設置状況

新春 支部長挨拶

那須支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　岩　見　　武

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震から始まり、全国各地でも地震や豪雨等の自然災害が多発し、さらに記録的な猛暑となり、自然の変化にも脅威を感じる一年となりました。

インターンシップ座談会

那須地域においては、２度目となる大規模な豚熱が５月に発生し、支部員の全面的な協力体制を見て結束力の強さを再確認できました。

本年は人材確保・育成のため、インターンシップ・とちぎ子どもの未来創造大学・仕事説明会を継続し、専門高校以外へのリクルート活動、ワクチャレへの参加、外国人採用・在宅ワーカー活用等の講習会を企画していきます。

ドローン（マトリス）レーザーカメラ搭載

また、保有するドローンやソフトを活用してICT施工を支援し、生産性を向上させて働き方改革を後押しできればと考えています。

安全に高品質な現場づくりを推進し、一枚岩となって努力してまいります。本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

烏山支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　岡　　恒　夫

新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、４月から建設業の働き方改革が施行され、我々は、長時間労働の是正、ICTの導入等労働環境の改善に努めてまいりました。業界一丸となり建設業の魅力をアピールし、イメージアップに努めておりますが、次世代を担う若年技術者の確保は未だに課題となっております。

山あげ祭応援クリーン作戦

我々は、安全・安心なまちづくりのため、災害や降雪時には地域の守り手として活動し、地域を支える業界であり続けなければなりません。希望を持ち、安心して働ける、将来性を感じてもらえる建設業になるべく、取り組みを進めてまいります。

一級河川荒川災害復旧助成事業竣工式

結びに、今年は、乙巳（きのとみ）の年であり、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるといわれています。皆様の取り組みが実を結び、魅力あふれる業界に発展を遂げる年になりますよう願うとともに、皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

新春 支部長挨拶

安蘇支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　木　村　光　伸

新年明けましておめでとうございます。日頃より当支部に対し、ご指導・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

当支部管内の佐野市では、令和元年の台風 19 号により、市を南北に貫流する一級河川秋山川上流部の兼用道路の崩壊、中流部の越水、下流部堤防の決壊など甚大な災害を被りました。その後、災害復旧工事が行われ、栃木県をはじめ関係機関のご尽力により、令和７年度には完了する見込みとなりました。

護岸復旧

愛ロード

支部員 17 社も、災害発生時の対応から復旧工事と、現場の安全第一を最優先の課題として取り組み、労働災害防止に努め成果を上げております。

また、安蘇支部では、佐野 SA のスマート IC に近接する県営みかも山公園西口へ接続する県道みかも山公園線の愛ロード活動を年間６回、実施しております。この活動や担い手確保につながる総合学習支援活動並びに道路及び河川等維持管理統合業務委託などは、支部員の団結と融和の象徴的な社会貢献活動であり、今後とも積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、引き続き、ご指導・ご協力をお願いいたします。本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします

足利支部　令和７年　新春を迎えて

支部長　蓼　沼　法　彦

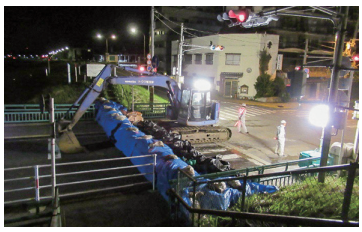
平素は足利支部の事業活動に対し格別のご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

当支部の主な活動を以下にご紹介いたします。

街のシンボルである中橋は、周囲より橋の部分が約３メートル低いため、2019 年台風 19 号の際には足利支部会員で堤防付近に大型土のうを積んで災害越水対策を行いました。現在、堤防の嵩上げと橋の架け替え工事が進捗中です。

10 月に、通行止めとなった中橋上で、渡良瀬川河川事務所、安足土木事務所、足利市主催、栃木県建設業協会足利支部共催にて「ありがとう中橋！ ～いよいよ生まれ変わる中橋～」を開催し盛大なイベントとなりました。

足利市水防演習（５月 19 日）



令和元年東日本台風時の水防活動

例年、道路河川等管理情報システム伝達訓練、排水ポンプ車稼働訓練、水防演習などを行い有事に備え、また愛リバー、花火大会や尊氏公マラソン開催前のクリーン運動に加え、両毛ヤクルト様の「健康祭り」に出展し地元建設業を広く広報しています。

魅力ある建設産業の創造をめざし、急激なインフレや担い手不足、ICT や DX など様々な課題に対して取り組み、地域独特の環境や事情を鑑み、地域建設業発展のための事業活動を展開いたします。

ありがとう中橋！～いよいよ生まれ変わる中橋～（10 月 14 日）

令和６年度
国土交通省関東地方整備局との意見交換会

（一社）栃木県建設業協会
谷黒　克守 会長

国土交通省関東地方整備局
岩﨑　福久 局長

栃木県県土整備部
谷　英夫 部長

令和６年12月９日、栃木県総合文化センターにおいて関東地方整備局岩﨑局長ほか県内直轄事務所長を含む役職者、栃木県県土整備部谷部長ほか幹部職員、栃木県建設業協会谷黒会長ほか副会長、各支部長、総務企画・技術・広報・大型民間工事参入検討委員長などが参集し意見交換会が開催されました。

関東地方整備局長、栃木県県土整備部長、栃木県建設業協会長による挨拶の後、関東地方整備局企画部技術開発調整官の進行で、関東地方整備局の取組、建設業行政の最近の動きについて説明がありました。栃木県建設業協会からは活動状況や、「経営体質の強化」、「維持管理業務共同受注方式の拡充」、「人材の確保・育成」について説明がありました。（菊池副会長説明）

次に、国から昨年度の意見要望への対応状況説明があった後、意見交換を行い、栃木県建設業協会から次の意見要望を提出し国等の所見を伺いました。

議題１　防災、減災、国土強靭化への安定・持続的な予算確保について　（石川副会長説明）
議題２　国管理施設における共同受注方式について　（竹澤副会長説明）
議題３　広域道路ネットワークの充実・強化について　（坂野副会長説明）
自由討議　働き方改革への対応について　（齋藤副会長説明）
自由討議　建設分野を目指す若者の育成について　（宇賀神常任理事説明）

最後に、関東地方整備局増田副局長から熱心な意見交換への謝辞があり、閉会しました。

建設労働者の雇用改善のために

～ 令和６年度「栃木県建設雇用改善推進大会」を開催 ～

令和６年11月29日、宇都宮市のホテル東日本宇都宮において、栃木県建設雇用改善推進委員会、一般社団法人栃木県建設業協会主催、栃木労働局、栃木県、独立行政法人勤労者退職金共済機構栃木県支部、栃木県建設産業団体連合会共催による「栃木県建設雇用改善推進大会」が開催され、会員などの関係者220人が出席しました。

谷黒克守 栃木県建設雇用改善推進委員会会長

川口秀人 栃木労働局長

斎藤成宏 栃木県労働政策課長

式典では、主催者を代表して谷黒克守栃木県建設雇用改善推進委員会会長から、「近年における大規模自然災害の頻発・激甚化への対応に加え、家畜伝染病の埋却処分の迅速な対応など『地域の守り手』としての建設業の活躍に、社会から大きな期待が寄せられております。しかしながら、近年の建設業界では、少子高齢化に伴う生産年齢人口減少の影響で、就業者の高齢化が進む一方、若者の新規入職者の確保に苦慮するという大きな課題に直面しております。このようなことから、本年度より建設業にも適用された時間外労働規制への対応をはじめとした『働き方改革』へ積極的に対応するなどして、魅力ある業界へと進化をさせていかなければなりません。皆様におかれましては、本日の推進大会を一つの契機として、さらに実のある雇用改善に取り組まれ、若者から選ばれる業界となるようご期待申し上げます。」とあいさつを述べました。

次に共催団体からは、はじめに川口秀人栃木労働局長より「建設業は生活に欠かせない社会資本を整備し、雇用や地域経済を支える重要な役割を果たしています。他産業にはない様々な支援策を用意しており、各種助成金の積極的な活用を行い、職場への定着を県内全域に浸透させてほしいです。」とあいさつがありました。

栃木県知事の代理で知事のあいさつを託された斎藤成宏栃木県労働政策課長からは、「県は産業技術専門校や就労支援制度を通じ、若者の雇用促進に努めています。建設業は地域の守り手であり、社会基盤づくりに尽力しています。人材の確保のためには、適正な雇用関係の確立や職場の安全確保はもとより、建設業の発展のため、魅力ある職場づくりの実現をお願いします。」とあいさつがありました。

続いて、建設雇用改善に功績のあった事業主の方々に対して、栃木県知事表彰が小池工業株式会社、株式会社戸室組に、また栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰が株式会社庭野建設、葵建設株式会社、

株式会社河原土建、花塚重機建設工業株式会社に授与され、建設業退職金共済制度普及協力事業所に対して独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰が株式会社栗山山本建設、関東建設株式会社に授与されました。

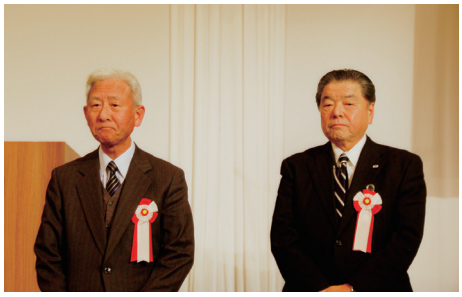
南 利幸氏

式典後は、記念講演が行われ、株式会社南気象予報士事務所代表取締役の南利幸氏による「多発する異常気象と建設業における気象災害への備え」と題したご講演をいただきました。南利幸氏は、気象予報士の他、防災士、ビオトープ管理士といった資格もお持ちであり、現在、週末のNHK総合「おはよう日本」などに出演され、「ダジャレを交えるお天気おじさん」として知られています。気象情報に様々な課題を抱えている建設業にとって、大変ありがたいお話を拝聴いたしました。会場では明るい笑顔とともに、大きな拍手が鳴り響きました。

受賞事業者名

■ 栃木県知事表彰

小池工業株式会社　（日 光 支 部）
株式会社戸室組　（安 蘇 支 部）


栃木県知事表彰受賞者

■ 栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰

株式会社庭野建設　（宇都宮支部）
葵建設株式会社　（日 光 支 部）
株式会社河原土建　（芳 賀 支 部）
花塚重機建設工業株式会社（那 須 支 部）

栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰受賞者

■ 独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰

株式会社栗山山本建設　（日 光 支 部）
関東建設株式会社　（安 蘇 支 部）

独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰受賞者

関東建設青年会議通常総会・関東地整との意見交換会を開催!

栃木県建設業協会　青年経営者連合会

挨拶する籾山大介会長（千葉県）

新会長に選出された湯沢信氏（山梨県）

活動報告をする山中委員長（栃木県）

令和６年９月 27 日、THE MARK GRAND HOTEL（さいたま新都心）で令和６年度関東建設青年会議通常総会と関東地方整備局との意見交換会が開催されました。

通常総会の冒頭、主催者を代表し、関東建設青年会議の籾山大介会長（千葉県）から通常総会の参加者に対し、２年間の事業運営や、昨年 12 月に主幹ブロックとして実施した全国建設青年会議第 28 回全国大会に関し、多大な支援と協力をいただいたことに対して感謝の言葉が述べられました。引き続き通常総会の議事に入り、令和５年度の実施事業や、全国建設青年会議第 28 回全国大会について報告がされ、その後、令和６年度の事業計画として次の５点が提案されました。①建設産業における情報交換の推進策として、関東地整との情報交換を積極的に行うこと。②持続的な建設産業の推進策として、建設生産システムの効率化などに向けた研究を行うこと。③効果的な社会貢献活動の発信方法の研究を進めること。④首都直下型地震への備えの対応として、建設業がいかに行動し、他の地域と連携できるか研究すること。⑤全国建設青年会議第 29 回全国大会への協力を行うこと。議案については、出席者の満場一致で承認となりました。また、本年は役員の改選時期となっており、新会長には、湯沢信氏（山梨県）が新たに選出され、今後の抱負と決意が述べられました。

続いて行われた関東地整との意見交換会では、建設産業向上委員会の山中委員長（栃木県）から、「建設業の募集と定着」をテーマに、主に関東地方の方々を対象に行った建設業イメージ調査の結果について報告されました。関東地整からは、「様々な年代の方に調査を行っており、結果についても大変興味深い内容であった」と好評をいただきました。次に建設産業情報発信委員会（CTI）の小川委員長（埼玉県）から、工事現場に「START」の文字を出現させ、若者に建設業の魅力を発信する取組について報告がありました。委員会活動の報告後、関東地整の福島企画調整官から、本年１月の能登半島地震への対応などについて説明がありました。

最後に、渡邊企画部長から「引き続き業界の皆様との連携を深め、建設業を魅力ある産業としていきたい」と講評がありました。意見交換会の終了後には、懇親会も行われ、盛会のうちに終了となりました。

大規模地震災害に備えて
～「栃木県道路啓開計画」の策定～

栃木県県土整備部道路保全課

1　はじめに

道路啓開とは、緊急車両等の通行のため、早急に最低限のがれき処理や簡易な段差修正等を行い、救助・救援のためのルートを開けることをいいます。東日本大震災では、発災後に立案された「くしの歯作戦」による道路啓開が実施され、発災翌日には沿岸部主要都市へのアクセスルートが確保されるなど、その重要性は大きく認識されています。

栃木県では、これまで「地域防災計画」「緊急輸送道路ネットワーク計画」に基づき道路啓開作業を行っていましたが、能登半島地震の発生などを踏まえ、道路啓開の考え方や手順、事前に備えておくべき事項をとりまとめた「道路啓開計画」を新たに策定しました。

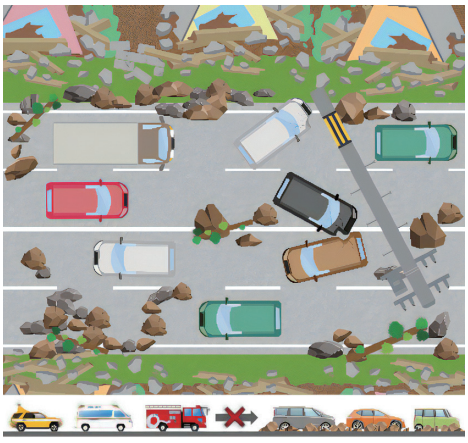


図　発災直後イメージ

2　「道路啓開計画」のポイント

（1）被災情報の収集

情報収集の手段として、道路パトロールや道路監視カメラ（CCTV）によるほか、貴協会が運営している「道路河川等管理情報システム」を活用した情報収集を行います。

（2）啓開ルートの選定方針

県管理道路の道路啓開は、「地域防災計画」等で定められる防災拠点の中から救助・救援に係る防災拠点を対象とし、被災状況や啓開に係る作業時間等を勘案し、啓開ルートを選定します。また、県域を跨ぎ南北軸、東西軸を構成する国道４号（新４号国道含む）、国道 50 号、東北縦貫自動車道、北関東自動車道の４路線については、県管理道路に先立ってルートを確保する必要があると考え、最優先で啓開を実施する路線として位置づけました。

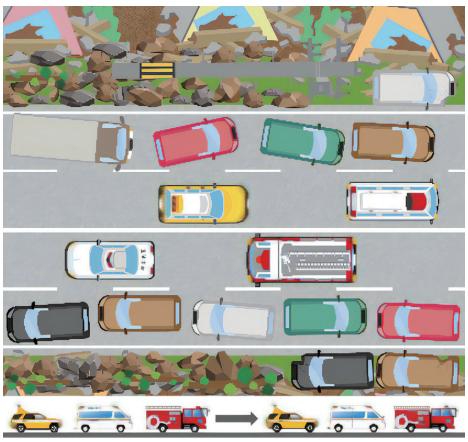


図　道路啓開後イメージ

（3）タイムライン

発災後３時間程度で被災情報を集約し、６時間程度で啓開を実施するルートを決定します。また、人命救助の 72 時間の壁を意識し、発災から 48 時間以内に災害拠点病院など広域的な救助に係る防災拠点を結ぶルートの啓開完了を目標としています。

（4）啓開の実施

道路上に散乱したがれきの撤去は、災害協定に基づき、各土木事務所から貴協会各支部へ依頼し、警察や消防、自衛隊による救助活動と連携し、上下各１車線の計２車線を緊急車両等の通行空間として確保とします。

3　おわりに

栃木県は、首都直下地震や南海トラフ地震など、近い将来に高い確率で発生が予測されている地震はありませんが、熊本地震や能登半島地震は低確率の地域で発生しています。このため、平時から道路啓開体制の強化、訓練を通じた技能の習熟を図るものとし、大規模地震への備えを推進して参ります。

栃木県の道路啓開にあたっては、貴協会の協力が必要不可欠であることから、これまで以上の連携、協力をお願いいたします。

労働基準法第 33 条及び同法第 139 条について
～建設業における時間外労働上限規制の特例～

栃木労働局

特例１　労基法第33条第1項

人命又は公益保護のため緊急を要する「**災害その他避けることのできない事由**」により、臨時に36協定で定める延長時間を超えて時間外・休日労働を行う必要が生じた場合等において、所轄労働基準監督署長への事前の許可申請又は事後に遅滞なく届出を行うことにより、**社会通念上必要な範囲**に限り、時間外労働の上限規制の適用を受けずに36協定とは別枠で、時間外・休日労働を行うことを可能とする法制度。

◆対象となる事由

災害をはじめ事業の運営上、通常想定される予防措置では避けられないような突発的あるいは想定の範囲を超える大規模又は重篤な事象が発生した場合。※発生が客観的に予見され差し迫った場合を含む。

◆社会通念上必要な範囲

工場火災等において、消火作業及び後始末は含まれるが、再稼働のための復旧作業や災害発生後の複数年にわたる復旧工事などは対象外。

＜適用が考えられる事例＞

- 都道府県等との**防疫協定**や**災害協定**による要請等に基づき緊急に行う瓦礫撤去や仮設住宅の設置、「豚熱」「鳥インフルエンザ」への対応
- 河川の氾濫等が予想され、**人命・公益保護**のため緊急に行う土嚢積み
- **災害協定**や**維持管理契約**等に基づき、道路交通の安全確保等**人命・公益保護**のため緊急に行う路面への凍結防止剤の事前散布や除雪作業
- 上記のような緊急対応を要する非常災害等が発生した場合において、**人命・公益保護**のため他の事業場からの協力要請に応じる場合

特例２　労基法第139条第1項

災害復旧及び復興に係る工作物の建設の事業その他厚生労働省令で定める関連事業について、単月100時間以上、2～6か月平均80時間超の時間外・休日労働を可能とする36協定を締結できる法制度。

➡ **年間720時間以内、月45時間超6か月以内**の上限規制は適用あり。

◎労基法第33条第1項の対象とならない災害復興事業も対象。

➡　まずは、前年の災害復旧・復興関連事業への対応実績と上限規制等を踏まえて36協定を締結し届出。その上で、特例１の事由が生じた場合は、労基法第33条第1項に基づく許可申請又は届出を検討。

税務署からのお知らせ

令和６年分の申告と納税は期限内に！

●令和６年分の申告と納税は、期限内にお願いします。

	所得税及び贈与税	消費税（個人事業者）
申告及び納期限	**３月 17 日（月）**	**３月 31 日（月）**
振替日	所得税：**４月 23 日（水）** 贈与税：**口座振替は利用できません**	**４月 30 日（水）**

マイナンバーカードを使って自宅からスマホで確定申告！

スマホとマイナンバーカードを使って、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」から自宅で申告書を作成・提出（送信）できます。
また、マイナポータルと e－Tax を連携（マイナポータル連携）すると、確定申告書の該当項目が自動入力されるので、医療費通知情報や寄附金受領証明書などを１件ずつ入力する必要がなく、書類の提出保存も不要となり便利です。
さらに、給与所得や公的年金等の源泉徴収票なども自動入力の対象になります。
なお、マイナポータル連携をご利用になるには事前準備が必要となりますので、お早めの準備をお願いします。

≪確定申告はこちら≫

作成コーナー

≪マイナポータル連携はこちら≫

（所得税のすべての画面がスマホ向けの画面に！）

令和７年１月からは、所得税のすべての画面でスマホでも操作しやすい画面になるため、スマホ申告がますます便利になります。
給与収入や年金収入のある方の医療費控除などの申告はもちろんのこと、事業所得や不動産所得がある方の青色申告決算書や収支内訳書の作成においても、収入、経費金額を入力すれば、所得金額が自動計算されるため、計算誤りがありません。
また、データを保存し翌年に引き継ぐことで、翌年以降一定の項目の入力が省略されます。
さらに、消費税の確定申告に青色申告決算書等データを利用することで、決算書等の情報が引き継がれ、一定の項目が自動入力されます。

（令和７年１月よりスマホ用電子証明書に対応します！）

スマホ用電子証明書を利用することで、マイナンバーカードをスマホで読み取らなくても、申告書の作成・e－Tax 送信ができるようになります。
また、利用者証明用電子証明書のパスワード（数字４桁）はスマホの生体認証機能等を利用できるようになります（機種によって異なります。）。
※１ Android™でのみ利用可能です。
※２ Android の名称は Google LLC の商標または登録商標です。

令和７年１月から、申告書の控えに収受印の押なつを行いません

国税庁・国税局・税務署では、税務行政のデジタル化における手続の見直しの一環として、令和７年１月から、申告書等の控えに収受日付印の押なつを行わないこととしました。
申告書等を書面で提出する際には、提出用のみを提出（送付）してください。

山根良信前副会長が旭日双光章を受章

当協会の山根前副会長（三興工業株式会社代表取締役会長）が令和６年秋の叙勲において、建設業振興功労により、旭日双光章を受章されました。

栄えある旭日双光章ご受章を祝し、謹んでお慶びを申しあげます。

山根前副会長は、昭和22年３月生まれで、足利市在住であります。昭和45年２月、三興工業株式会社の取締役に就任し、何事にも真摯に取り組み、多数の工事現場を経験し優れた実績を残されました。

昭和50年４月に同社の代表取締役社長に就任以降も、平成22年10月栃木労働局長表彰、28年７月には建設事業関係功労者として栃木県知事表彰、令和元年７月に国土交通大臣表彰などを多数受賞されました。

平成30年９月には代表取締役会長となられ、引き続き社の発展のため後進の指導にあたり現在に至っています。

本会では、平成22年に当会常任理事に就任され、平成30年からは常任理事兼副会長として、令和２年からは副会長、更には栃木県土木施工管理技士会会長として、土木技術者の技術力・社会的地位の向上を目的に、関係機関等と意見交換を重ねる等、昨年５月までの長きに渡り建設業界及び地域社会の発展に尽力されました。

今後はお体を大切になされまして、後進へのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ユニフォームをリニューアル!!

昨年栃木県建設業協会では、創立100年を迎えさまざまな記念事業を行ってきました。その事業の一環として、新ロゴマーク付き作業着・ビブスをリニューアルいたしました。ユニフォームは新ロゴマーク「TXC」の「新しい時代に対応していくために郷土や伝統を大切にしながら、私たち自身を変えていく・超えていく」をコンセプトに背中に大きく表したデザインになっております。カラーは作業服全体を落ち着いた色味のネイビーとし、ロゴマーク部分を目立たせるべく背景を白にしました。

素材は特殊構造のストレッチ加工糸を使用した肌に優しい裏綿素材、制電裏綿ストレッチツイルで作成され快適な着心地です。このユニフォームは台風や豪雨、地震等の自然災害発生時における緊急対応や応急・復旧活動時、「愛リバー」「愛ロード」などの社会貢献活動で利用いただくことを目的としております。

（業務部　篠﨑有里）

Topics

第３回「建 FES GO ！」が開催されました

栃木県建設業協会青年経営者連合会は、令和６年10月19日に３回目となる建設業体験型イベント「建 FES GO！」を宇都宮市道場宿緑地公園にて開催いたしました。

本イベントの目的は、喫緊の課題である担い手確保の観点から、未来を担う子供たちに建設の仕事体験を通して建設業の楽しさやかっこよさ、対価をもらう喜びを体感してもらうことと、最先端の技術や機械を見たり触れたりしていただき、建設業界のイメージアップを図ることを目的として今年度も実施させていただきました。

今年度も親会をはじめ、国土交通省下館河川事務所様、栃木県様、とちぎ建設技術センター様、CCIとちぎ様、各メーカー企業様から多大なるご支援・ご協力をいただきました。さらには今年から県内の工業高校６校にも参加していただき、前回よりも魅力あるイベントが開催できたことに、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

当日は、会場を３つのエリア(体験して楽しい・触れて学べて楽しい・見て楽しい)に分けて約5,000名の方に来場していただき、職業体験のほか、親子参加型のイベントステージや、大道芸・バルーンアート、展示ブース等で楽しんでいただき、多くのお子さんたちの笑顔を見ることができました。この笑顔がイベント成功を物語っていると思います。

また、来場者へのアンケートでは、建設業へのイメージは？という質問に約９割以上の方に「良い印象」、「良い印象に変わった」と回答いただき、イベントを継続して開催してほしいという回答も９割以上の方からいただきました。

このような結果を振り返りますと、継続してイメージアップを図っていくことが未来の担い手確保につながるのではないかと強く感じることができました。

また、３回目ではありますが業界の若手が総力を挙げて取り組んだことで、会員相互の一体感をより一層増すことができたとも思います。

このイベントを通じて、多くの親御さんや子供たちから建設業に対する理解が得られるとともに、一人でも多くの子供たちに建設業界を目指していただけることを願っております。

（青経連社会貢献活動推進委員長　㈱谷黒組　谷黒宗重）

Topics

子どもたちと建設機械とのふれあい ～宇都宮城址まつりで搭乗ブース～

【宇都宮支部】

宇都宮建設業青年の会（津野田哲会長）は令和６年10月20日に宇都宮城址公園で開催された宇都宮城址まつり（よみがえれ！宇都宮城）に、子どもたちと建設機械のふれあいを目的とした搭乗ブースを出展しました。ブースでは約200名の子どもたちがバックホウ、ミニショベル、コンバインドローラーに実際に乗り込み、建設機械の運転を体験しました。参加した子どもたちは、笑顔で運転したり、驚嘆の声をあげたりと大変好評で、複数回体験を繰り返す方もいらっしゃいました。また、自作のYouTubeの動画画面やInstagramの投稿画面を模したパネルで記念写真を撮るお子さんもたくさん見受けられました。

宇都宮建設業青年の会の津野田会長は「子どもたちが建設機械にふれあうことで、建設業に興味を持ってもらえるきっかけになれば幸い」と、このイベントが将来の建設技術者の確保につながることに期待を寄せていました。

（岩原産業㈱　岩原正樹）

愛ロードとちぎを実施

【鹿沼支部】

令和６年10月11日、栃木県建設業協会鹿沼支部員にて愛ロードとちぎ・クリーンアップ作戦を行いました。今回の愛ロードは往復約3.0㎞を２班に分かれて作業を行いました。鹿沼市では10月12日、13日と秋祭りが開催されるため、今回のクリーンアップ作戦は、秋祭りへ参加する市民のみなさんや一般観光客の方々に安全に楽しんでいただけるように、また鹿沼に良いイメージを持っていただけるように清掃活動、安全点検を行いました。特に、鹿沼秋まつりは国の重要無形民俗文化財に指定されている「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」として、平成28年11月30日にユネスコ無形文化遺産 「山・鉾・屋台行事」 への登録が行われたことで、近年ではさらなる盛り上がりを見せています。また今回、鹿沼支部では広報委員会にて、のぼり旗を作成したため、「以前のクリーンアップ作戦に比べ、通行車の方々からの注目度が高くなっている感じがする」という声が多く上がりました。

（五月女建設㈱　五月女紀士）

とちぎ子どもの未来創造大学

『災害発生!その時、建設業は…?!』～指令室から災害現場へ～

【日光支部】

バックホウで流木撤去

令和６年10月５日、旧日光市立野口小学校にて『災害発生！その時、建設業は…?!』～指令室から災害現場へ～を開催しました。

当日は悪天候だったこともあり、当初参加予定は19名でしたが、日光市を中心に小学校４年生～中学校３年生までの13名の参加で実施することができました。前半は座学にて建設業とは何かを、水害や雪害など日光市において身近に存在する災害を題材に用いて理解を深め学んでいただきました。後半の重機搭乗体験等では、ドローンを操作していち早く災害箇所の確認作業を行う。災害発生箇所に入り、実際にバックホウにて流出した木を除去する。または、高所作業車に乗って被災建物などの外観確認を行うなどの実体験をしていただきました。

建設業とは?

ドローンで体験

高所作業車で目視確認

真剣に座学を受け、質問も多く出ており最後まで非常に活気のある事業となりました。

日光支部では今後も担い手確保につながる事業を継続していこうという機運を高める良い機会となり、県関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

（㈱山田組　山田　孝）

「旧芳賀建設会館」を使った消防・救助訓練

【芳賀支部】

芳賀支部は、「地域の安全・安心を守る」との理念に基づき、新会館建設に伴い取り壊される「旧芳賀建設会館」を、芳賀地区消防本部が実施する「実際の建物での火災及び震災対応訓練」に提供しました。

芳賀郡１市４町の消防・救助隊約50名が参加する大規模な訓練で、８月11、12、17、18日の４日間、煙を建物内に充満させた中での消火活動、建物外部からの捜索活動、狭い空間からの救出活動など、普段とは違うより実際の災害・火災現場に近い臨場感あふれる実践的訓練が行われました。

参加した隊員からは、「実際の建物を使用した訓練は、なかなかできるものではなく、非常に貴重な経験となった」との感謝の声をいただきました。

今回の訓練による隊員の技術力向上は、地域住民の安全・安心にもつながり、会館の提供により「地域の守り手」としての芳賀支部の役割を十分に果たすことができました。

こうして、「旧芳賀建設会館」は最期まで地域の防災力向上に貢献し、47年間の幕を閉じました。長い間、大変お世話になりました。

（大関建設㈱　大関好男）

Topics

小山北桜高、栃木農業高に出前講座 ～建設業の魅力を発信～

【下都賀支部】

小山北桜高校建築システム科

令和６年11月５日および11月19日、下都賀支部建友会にて若年者建設業担い手育成支援事業（高校出前講座）を行いました。対象になった高校は小山北桜高校建築システム科と栃木農業高校環境デザイン科の１・２年生の生徒で、建友会会員が講師を務めました。建設業がものを作るだけではなく災害対応などで社会貢献していること、現場監督が行っている業務内容、今現在、建設業界が取り組んでいる内容（女性活躍、ICTやBIM等の活用）をスライド映像や動画を活用しながら分かりやすく解説しました。その後、複数の班に分かれ座談会を行いました。

小山北桜高

栃農高

栃農高

生徒からの給料・休暇等の具体的内容や講座内容、その他様々な疑問・質問に会員が回答する形式で進行し、盛り上がりを見せていました。短時間でしたが今回の出前講座を通じて建設業に対する楽しさや魅力が伝わり、今後の職業選択に活かしていただければ幸いです。

（㈲藤沼建設　藤沼大輔）

「建設機械搭乗体験」総合学習支援活動

【塩谷支部】

塩谷支部建青会　高根沢町立中央小学校

晴天に恵まれた令和６年12月３日、塩谷支部建青会は高根沢地区初の総合学習支援活動を高根沢町立中央小学校において実施しました。会員企業から30人が参加し、全校児童138人を対象に重機・高所作業車の操作や搭乗体験などを行いました。

会員による指導・保護の下、バックホウ、タイヤローラー、高所作業車による搭乗体験を行い、ミニバックホウでは砂場で砂を取る操作を体験してもらい、振動ローラーでは「建 FES GO！」でも実施した缶つぶしを体験してもらいました。３台のドローン操作撮影にも興味津々でした。

高所作業車での搭乗体験

普段は触れることのできない建設機械に触られ、子供たちも楽しく学んでいました。建設業は皆さんが生活するために必要なものや便利な暮らしができるものをつくる仕事だと児童に説明しました。

総合学習支援活動を通じて建設業の役割、魅力、建設機械への興味を少しでも感じてもらい、将来建設業の仕事を一緒にやってみたいと思ってくれることを願っています。

（友建工業㈱　小菅秀樹）

Topics

とちぎ子どもの未来創造大学

【那須支部】

ICT 建機操作

令和６年10月26日に県北建設会館にて「とちぎ子どもの未来創造大学」を開催しました。

昨年に続いての開催となり、小中学生12名の子どもたちが「ミニコンクリート製品づくり」「ICT建機操作」「ドローン操縦」を体験しました。この体験を通して建設業の役割と魅力を発信し、担い手を確保することを目的にしております。

ミニコンクリート製品づくり

ドローン操作

「ミニコンクリート製品づくり」では練り混ぜに悪戦苦闘をしながらも会員の補助を受けながら、型枠に流し込むことができました。

また、会場を移しての「ICT建機操作」「ドローン操縦」体験では、当初は戸惑いがありましたが、徐々に操作に慣れてもっと時間がほしいとの声もあり、一連の体験を通じて建設業の魅力を発信できたと感じております。

開催に当たり県関係機関、協会本部、また広報委員会、総務企画委員会委員の皆様並びに建設機械をご提供いただきました企業様にあらためまして感謝申し上げます。

（㈱舘林工業　舘林貴之）

令和６年度 合同情報伝達訓練

【烏山支部】

ドローンによる現地確認　一級河川荒川　那須烏山市高瀬

令和６年６月５日に「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」に係る合同情報伝達訓練が、栃木県庁と関係機関によりリモート形式で実施されました。

那須烏山市を震源とし、震度７の地震発生による３ケースの災害事象を想定、①橋梁段差発生による通行規制実施に関する伝達訓練、②河道埋塞の発生における河道確保に関する伝達訓練、③斜面崩壊の発生による要配慮者利用施設の孤立解消に関する伝達訓練、以上３ケースが同時進行的に実施されました。

烏山支部では①②において、関係機関との情報伝達のやり取りを実施、特に②の河道埋塞の発生箇所では、一級河川荒川の状況確認のためドローンによる上空からのリアルタイムでの現地撮影、Teamsによる映像配信・情報共有をスムースに行うことができました。

Web方式による、国土交通省、防衛省、栃木県の関係機関との訓練は、災害発生時に重要となる情報の共有、日常業務におけるDX化・デジタル化の必要性を再認識する機会となりました。

（㈱荒川建設　中山靖之）

総合学習支援活動

【安蘇支部】

バックホウ操作体験

安蘇支部では佐野市立多田小学校の児童を対象に、建設業の魅力を伝える総合学習支援活動を実施しました。活動内容は、紙芝居「台風が来るぞ」の読み聞かせ、バックホウ体験、高所作業車体験の３つです。

まず、紙芝居を通じて災害時において建設業者がどのような活動を行うか学んでいただきました。分かりやすく建設業の役割を伝えることができたと思います。次にバックホウ体験では実際に機械を操作し、建設現場での力強い作業を体感してもらいました。子どもたちは機械の操作に興味津々で参加してくれました。高所作業車体験では、普段は見ることができない自分たちの街並みを空中から見ることができ、嬉々としていました。子どもたちは普段は見ることのできない視点から新たな発見をし、建設業に対する理解が深まったことと思います。これらの体験を通じて子どもたちは建設業に興味を持ち、未来の職業選択の幅が広がったことと思います。

高所作業車乗車体験

（岡田土建㈱　石澤洋幸）

ありがとう中橋！

【足利支部】

建設から88年にわたり足利市の発展を支えてきた中橋に感謝を伝えるイベント「ありがとう中橋！～いよいよ生まれ変わる中橋～」が令和６年10月14日、国・県・市の主催で開催され、足利支部も共催団体として参加しました。

当日は、親子連れをはじめ約４千名もの方々が集まり、中橋の路面に感謝の言葉を描くお絵描き用のチョークが開始30分で足りなくなるほどの賑わいを見せました。我々も高所作業車やミニバックホウの搭乗体験を行い、特に、地上15メートルから中橋の三連アーチを見下ろす高所作業車では、最大３時間待ちの行列ができるほどの大人気で、我々にとっても、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今回のイベントを通して、改めて中橋がたくさんの市民に愛されていることを実感するとともに、我々も微力ながら、この中橋の架け替え事業にできる限りの貢献をしていきたいと考えたところです。

（三興工業㈱　山根良樹）

お役立ち連載

建設キャリアアップシステム 第21回 を活用しよう!

貴方の経歴、活用しないともったいない

―経歴証明でレベルアップを目指しましょう!―

建設技能者の能力評価は、キャリアパスの明確化、技能に見合った処遇の実現などを趣旨・目的として、見習い相当のレベル1から登録基幹技能者等のレベル4までの4段階で評価するもので、CCUSに蓄積・登録された**就業日数、保有資格、職長・班長の経験日数**を評価対象としています。とはいえ、CCUSの本格運用は2019年4月からであり、それ以前から建設業に従事し、資格も経歴も有し、レベル3やレベル4の要件を満たしているにも関わらず、CCUSに蓄積されたデータでは不十分な技能者はどうしたらよいでしょうか?

CCUS登録技能者であれば、所属事業者等による経歴証明書を活用して能力評価申請し、資格・経歴に応じたレベル判定を受けることができます。

留意点

- 経歴の起算点は、CCUSに登録した、建設業に関する資格等の取得年月日等（保有資格として求められているか否かを問いません。）
- 職長・班長の経験については、起算点の確認は要さず、所属事業者等の経歴証明のみ
- 証明書で証明される経験に、システム利用開始後に蓄積された経験を加えて申請することも可能

※**証明書に記載できる経歴期間は、2024年3月31日まで。**
経歴により能力評価申請ができるのは、2029年3月31日まで。
経歴証明書の様式など、具体的な方法等については、各能力評価実施団体のホームページ 等をご確認ください。

基本的なレベルアップのイメージ

入職後、レベル1からCCUSにデータの蓄積を始めて、レベル4のゴールドカードにたどり着くまで、**早くても2,150日**かかります。
データ蓄積前の経歴も、期間内に申請することで、**能力評価の対象**とすることができるので早期に**レベル4**を目指せます。

能力評価の結果を反映した手当の支給を実施、検討している事業者が増えつつあります。
この機会に、CCUSに登録し、レベルアップを目指しませんか?

建設業しんこう（URL：https://www.shinko-web.jp/）「建設業しんこう 2024年9月号 No.561 より転載」

東日本建設業保証グループ会社（ＫＫＳ）からのご案内

工事の出来高に応じた融資を利用してみませんか？

新たな資金調達手段をお考えの方に…

KKS出来高融資のご案内

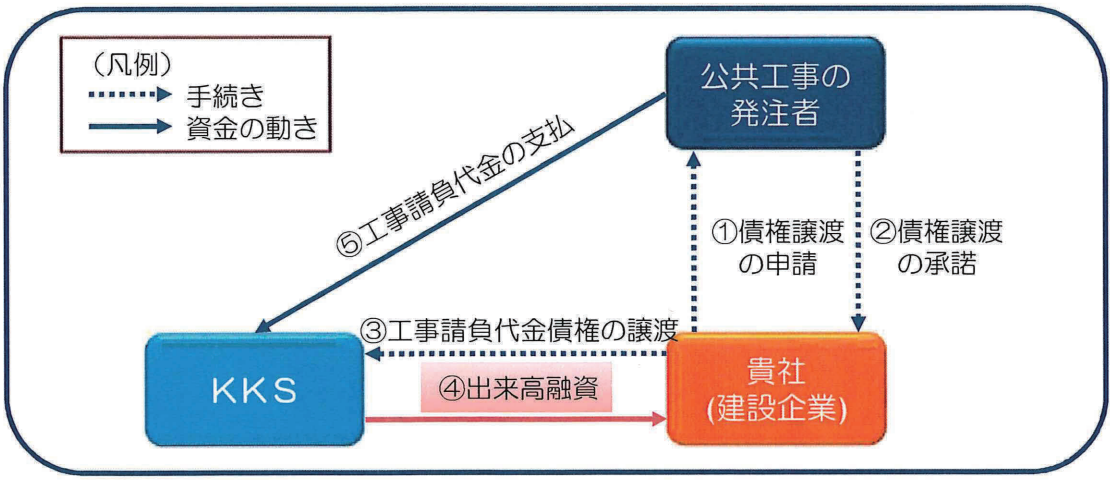
～国土交通省　地域建設業経営強化融資制度 ～

よく利用されるケース

当該工事の資金繰りを何とかしたい！	**保証人・不動産担保は不要です！** 工事請負代金債権を担保とするので、保証人を立てたり、不動産を担保とする必要はありません。
既存の融資枠とは別の資金調達手段を確保したい！	**新たな資金調達手段を確保できます！** お取り引きしている金融機関の融資枠に影響することなく、新たな資金調達手段として利用できます。
竣工金の受取りまで時間がかかりそう！	**工事代金の入金遅れを解消できます！** 資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立て易くなります。また、竣工金入金によって融資の返済を受けたものとしますので、余分なコストがかかりません。
経営事項審査の評点をアップしたい！	**経審上も有利です！** 出来高融資での借入金は、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます。

ＫＫＳ出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権（以下、工事請負代金債権とします）を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。



お申込から融資実行までの流れ

借入申込 → 債権譲渡の申請・承諾 → 出来高の確認 → 融資実行

お申込から**4週間程度**で融資します

ご利用の留意点

※ 基準金利は年1.9%です（但し基準金利は、金融情勢により変動することがあります）。
※ 融資時には、利息のほかに、事務手数料、出来高査定費用（実費）、手形貸付に係る印紙、法人の印鑑証明書等の費用がかかります。
※ 事務手数料については、一律11,000円（税込）です。ただし、同一工事で複数回の融資をご利用の場合は、2回目以降7,700円（税込）です。
※ 出来高査定費用は工事内容や工事場所等に応じて変動します。

ご利用いただける発注者の例示

【　国　】 国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
【独立行政法人】 東日本高速道路㈱、都市再生機構、水資源機構
【地方公共団体】 栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市
那須塩原市、さくら市、下野市、上三川町、那須町、壬生町

制度に関するお問合せ先　⇒　東日本建設業保証㈱栃木支店　028-639-2388
お申込に関するお問合せ先 ⇒ ㈱建設経営サービス　金融第二部　03-3545-8523

詳しくはWEBで　KKS出来高融資　検索　www.kks-21.com

発行人・お問合せ先
KKS 株式会社 建設経営サービス
金融第一部
（貸金業登録番号　関東財務局長(5)第01480号）
〒104-0045　東京都中央区築地5-5-12　URL https://www.kks-21.com
TEL 03-3545-8523　FAX 03-3545-8530

金融第二部　東京都中央区築地5-5-12　TEL 03-3545-8523
宮城営業所　宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 TEL 022-262-8622
愛知営業所　愛知県名古屋市東区武平町5-1　TEL 052-962-3525
石川営業所　石川県金沢市弥生2-1-23　TEL 076-242-1285

一般社団法人　栃木県建設業協会　推薦

栃木県内の電子入札用ICカードは
AOSign（アオサイン）サービス

信頼の発行実績　累計発行枚数は65万枚突破！
スピード発行　申込書類到着後、5営業日以内で発行！（不備がない場合）
豊富なラインアップ　有効期間1年+30日～5年までの5種類をご用意！

はじめてお申込みの企業様限定「アンケートご回答特典　初回とく割」実施中！

お問い合わせ先
日本電子認証株式会社　〒104-0045
TEL 0120-714-240　東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ3F
https://www.ninsho.co.jp/index.html

東日本建設業保証株式会社　栃木支店　〒321-0933
TEL 028-639-2388　栃木県宇都宮市簗瀬町1958-1 栃木県建設産業会館3F
FAX 0120-027-316

日建学院は開講以来、建築士、宅建士、各種施工管理技士合格者輩出のトップを走り続けます。

合格者輩出数55万人突破!

業界実績 No.1

建築士講座

- リピート満足度
- 使用教材の満足度
- カリキュラム充実度
- 価格の満足度

AWARD No.1 2021 JMR

- 設備体制学習環境の充実度
- 職員の対応サポート力
- 担当者の最適なコース提案力
- 感染対策の満足度

総合満足度 No.1
顧客満足度

日本マーケティングリサーチ機構　調査概要:2021年9月期_顧客満足度調査

10冠達成の資格学校です!

人材開発支援助成金 受講料の最大約92%を助成!

※上記日建学院宇都宮・小山校2級建築施工管理技士一次・二次講座を利用した場合〔20人以下の中小建設事業主〕。
※助成金はご利用条件がございます。詳しくは日建学院宇都宮校までお問合せ下さい。

日建学院 主要開講座

- ●1級土木施工管理技士
- ●2級土木施工管理技士
- ●1級建築施工管理技士
- ●2級建築施工管理技士
- ●1級管工事施工管理技士
- ●2級管工事施工管理技士
- ●1級造園施工管理技士
- ●2級造園施工管理技士
- ●給水装置工事主任技術者
- ●1級建築士　●2級建築士
- ●宅地建物取引士　●建築設備士　他多数

あなたの夢、応援します。

日建学院

宇都宮校 TEL:028-637-5001　小山校 TEL:0285-31-4331

建設業のみなさんへ

建退共に入ろう!

従業員をまもる。
会社を強くする。

加入企業数 約17万4千所

加入従業員数 約212万人

運用資産額 約1兆800億円

※令和6年3月現在

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子申請方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
加入できる!

建退共
KENTAIKYO

詳しい情報はこちら!

建退共

https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

新しくなって、さらに安心・納得！

手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円

契約者割戻金制度
により
掛金負担が軽減

労働者と企業の
リスクをカバー

割戻金の支払いが始まっています。

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を！

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者（死亡および障害・傷病3級以上）の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

① 安全衛生用品の頒布
② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
③ 安全衛生推進者表彰　等

公益財団法人
建設業福祉共済団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：（一社）栃木県建設業協会
〒321-0933 宇都宮市簗瀬町1958-1
Tel. 028-639-2611 Fax. 028-639-2985

正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで

FREE フリーアクセス **0120-913-931**
受付時間　午前9:00～午後5:00（土日祝を除く）

詳しくはHPをご覧ください！
建設共済保険　検索
https://www.kyousaidan.or.jp/

小さな事から始められる、福井コンピュータの建設DXソリューション。

業務の一つひとつを3D・ICT化し活用していくことで、現場の省力化・効率化が実現し、生産性を飛躍的に向上させることができます。
福井コンピュータでは、建設業界が抱える課題をICT技術で解決し、日本のインフラ整備を支えてまいります。

●背景イメージデータ提供：カナツ技建工業株式会社（島根県）

製品情報

福井コンピュータ株式会社　北関東営業所／埼玉県さいたま市北区本郷町784

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは
［福井コンピュータグループ総合案内］
ナビダイヤル 0570-039-291
福井コンピュータ　検索
https://const.fukuicompu.co.jp

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんのでご注意ください。

登録経営状況分析機関
登録番号 1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

お問い合わせ
■北海道 TEL 011-222-2688
■関東 TEL 03-6661-7427
■東北 TEL 03-6661-7214
■中部・北陸 TEL 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階
詳しい情報は https://www.ciic.or.jp/
または なんでも経審Plus 検索

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に関するISO規格（27001）の認証を取得しています。
MSA-IS-38

第1位
ご採用実績

全国71自治体様で本導入いただいています
(2024年10月時点)

スマホアプリ・GPSトラッカー・GPSロガー・ドラレコに対応
GPS除雪管理システム

- システムで稼働時間を自動集計
- GPSデータを基に除雪日報を自動作成
- システム上で日報の確認・承認が可能

wisePDS 国土交通省登録経営状況分析機関 登録番号4 ワイズ公共データシステム株式会社
本社：〒380-0815 長野市田町2120-1 TEL:026-232-1145
営業所：北海道／大阪／福岡　事業所：青森／岩手／秋田／山形／福島／群馬／新潟／富山／石川／福井／岡山

wise 建設系ソフトウェア開発販売 株式会社ワイズ
本社：〒380-0803 長野市三輪1丁目8番14号
TEL:026-266-0710

栃木建設新聞

栃木県の 毎朝10分で 建設情報に強くなれる

公共工事情報　県内の建設計画や工事情報をいち早くお伝えします。
入札・落札情報　入札結果・予定・公告情報を最短で翌日に掲載します。
最新業界情報　建設関係団体の事業活動、企業の取り組みを網羅。

1カ月お試し無料

栃木建設新聞
火曜日～土曜日発行
1カ月 8,100円（税込）
原則として半年ごとのご契約となります。6カ月契約＝48,600円（消費税込）　1年契約＝97,200円（消費税込）
※軽減税率8%の対象商品です。

株式会社 日本工業経済新聞社
宇都宮市簗瀬町1958－1　栃木県建設産業会館1階
営業時間　平日9時～18時

お問い合わせ
028－634－0141

試送お申込みはこちら

・私たちは安全を優先します・

建災防会員は、労働災害防止に積極的に寄与する企業として、
関係行政や発注者から高い評価が得られています。

建災防
建設業労働災害防止協会栃木県支部
〒321-0933　栃木県宇都宮市簗瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階
TEL 028-639-3133　FAX 028-639-3806
URL https://www.kensaibou-tochigi.jp/

積算資料と追加資材のデータベースをWeb経由で検索・出力

積算資料電子版

無料体験版のご利用はこちら⇨ BookけんせつPlaza 検索

年間契約料(税込)50,160円／1契約(毎月更新)

掲載単価は全て調査価格！ 約61,500規格を掲載！
- 月刊「積算資料」約52,300規格と「積算資料 別冊」約9,200規格（2024年8月号時点）を全て調査価格で掲載

検索結果はExcelで出力できます！
- 【検索・絞込】ツリー・フリーワード検索や都市、流通段階、数量区分の絞り込みが可能
- 【マイデータ】検索した単価や名称をExcelデータとして保存可能（一部点数制限あり）
- 【閲覧・印刷】表形式でのデータベース閲覧、月号の比較、PDFによる誌面の閲覧と印刷が可能

ID・パスワードのみで閲覧できます！
- 1契約につき7ユーザーまでの登録 このうち3ユーザーの同時利用が可能

●お申し込み・お問い合わせは●
一般財団法人 経済調査会 業務部
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル
TEL 03-5777-8222 FAX 03-5777-8237

詳細・無料体験版・ご購入はこちら！ BookけんせつPlaza 検索

会員のみなさまへ
～会員のみなさまを不測の事故からお守りします～

当協会での「各種保険制度」のご案内

① 第三者賠償事故包括契約保険制度	4月1日より1年間
② 土木工事総合保険制度	8月1日より1年間
③ 建設工事総合保険制度	12月1日より1年間

お問い合わせ先
栃木県建設産業団体連合会
一般社団法人 栃木県建設業協会
TEL 028-639-2611 FAX 028-639-2985
㈲アクト（三井住友海上火災保険㈱代理店）TEL 028-639-2611

あなたの「学び」を あなたの「力」に

土木施工管理／継続学習（CPDS）

栃木県土木施工管理技士会

■〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958－1 ■Tel. 028-639-2611 ■Fax. 028-639-2985

KOMATSU

株式会社 小松製作所 代理店
特定自主検査認証工場 栃第1号

株式会社 愛全重車輛

■本 社 宇都宮市平出町1044−1 TEL 宇都宮(028)661-6441(代表)
■宇都宮営業所 宇都宮市平出町1045−3 TEL 宇都宮(028)683-2282(代表)
■那須営業所 那須塩原市三区町504番地8 TEL 那須塩原(0287)36-3851(代表)
■鹿沼営業所 鹿沼市楡木町558−1 TEL 楡木(0289)75-4018(代表)

https://www.aizen-sh.co.jp

栃木県中央生コンクリート協同組合

事務所：〒321-0932 宇都宮市平松本町1140番地1 生コン会館2F
電 話：028（635）5583／FAX：028（635）5587

渡辺辻由共同生コン株式会社
株式会社増渕生コン
株式会社宝木建材工業
東武栃木生コン株式会社
菊一生コン株式会社
株式会社五月女生コン鹿沼工場
小山レミコン株式会社鹿沼工場
小山レミコン株式会社真岡工場
有限会社添谷工業
株式会社上野生コン
有限会社薄根生コン

KOMATSU

すべての人に、あらゆる場面で。
追求したのは、使いやすさ。

コマツ栃木株式会社

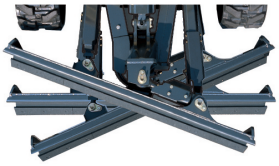
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38番地12
TEL 028-662-6093 FAX 028-660-0781

宇都宮支店 TEL 028-662-6088
鹿沼支店 TEL 0289-72-1005
小山支店 TEL 0285-28-1682
佐野支店 TEL 0283-21-8859
那須支店 TEL 0287-62-2611

NEW

「掘る」「吊す」「均す」
1台3役舗装バージョン
PC30UU-6 舗装バージョン新登場！

●アングル



●チルト

続 とちぎのサムライ vol.31

全国津々浦々 お城めぐりの旅

ここ数年、城址歩きをしていると、さまざまな城と歴史に関わることになります。毎回のことですが、自分勝手に書いておりますので、史実と異なる部分があるところはご容赦願います。

(一社)宇都宮建設業協会　木　澤　喜　人

山内一豊・千代の城 高知城

前回は[土佐から天下を夢見た男の城]というテーマで、長宗我部元親の話を書きました。今回は長宗我部氏が滅んだあと高知に入府した山内一豊を追いかけてみたいと思います。司馬遼太郎の『功名が辻』では一豊と千代の立志伝が書かれていますが、小説の中では肝心な時には千代の機転で一豊が功名をあげて出世していくストーリーで盛り上げられています。さて本題に入ります。一豊は15歳の時、父の山内盛豊が織田信長との内紛に巻き込まれ、この争いで父親と兄を失いました。そして幼いながらも一家の長となり、母や幼い弟、妹と共に、流浪の日々を送ることになったのでした。一豊は20歳を過ぎた頃、諸事情があり、かつて父の宿敵だった織田信長の配下となっていました。織田・徳川連合軍と浅井・朝倉連合軍が戦った「姉川の合戦」では一豊は木下藤吉郎に従って参戦しました。

撤退する朝倉勢と凄まじい戦いを繰り広げ、一豊は敵の放った矢が顔面に命中し、深手を負いながらも相手を組み伏せ、見事その首級を上げたのでした。討ち取った首は、織田信長の首実検に供され、この功績により一豊は現在の長浜市に400石を与えられました。

1577年(天正５年)に織田信長は、中国地方の大々名「毛利氏」を討つため、中国征伐を開始。一豊は、その指揮官となった「羽柴秀吉」の直臣として、多くの合戦に出陣していきます。中国各地を転戦しながら、数々の武勲をあげていきました。

長浜城　滋賀県

掛川城　静岡県

天正10年、「本能寺の変」により織田信長が倒れた後、羽柴秀吉は織田家の重臣であった「柴田勝家」と対立しました。一豊は、秀吉軍の武将として「賤ヶ岳の戦い」に参戦。秀吉は柴田軍に勝利した勢いで、柴田勝家を北ノ庄城に追い詰め滅ぼしました。これにより秀吉は織田信長の実質的な後継者となりました。一豊は数々の活躍が認められ、ついに２万石の大名として長浜城（現在の滋賀県長浜市）の城主へと出世したのでした。

次に豊臣秀吉は天下統一を目指し、北条氏を討つことを目的に「小田原征伐」を行います。

一豊は「豊臣秀次」を総大将とする軍勢に加わり、北条氏が本拠とする「小田原城」の支城「山中城」を落城させることに成功。ほどなく小田原城も陥落し、ついに豊臣秀吉の天下統一が実現しました。戦後の知行割りで一豊は、豊臣秀吉から掛川 ５万石を与えられることになり掛川城主となりました。

関ヶ原合戦の直前、石田三成は東軍の武将の妻を人質としました。自害をも決意していた妻の千代から、家康に忠誠を尽くすべきことを書いた密書と文箱が陣中の一豊のもとへ届きました。一豊は封を解かず、これを家康に献上すると箱の中には三成陣営に属する増田長盛、長束正家が連名した大阪方への勧誘状と妻の添え状でした。妻を失う覚悟で家康への忠義を誓い、しかも開封せずにそのまま手渡すという行為で、一豊は家康に忠誠を誓ったのでした。密書を見た家康はついに決断し、小山にて評定を開いて諸将の意見を聞くことにしました。

評定の席上で一豊は、西に進軍する途中にある自分の掛川城と兵糧をすべて家康のために提供すると公言しました。これにより一気に諸将の結束が固まり、参加していた豊臣恩顧の武将も家康に味方する流れとなりました。関ヶ原の合戦の後の論功行賞を検討した時、家康は「山内一豊の忠節は木の本、其他の衆中は枝葉の如し」と評価しました。一豊の行為が家康の心の奥深くに刻まれていたことが分かります。こうして家康が天下統一を成し遂げた後、一豊は土佐20万石の大々名へと抜擢され、念願の一国一城の主となったのでした。

浦戸城址碑　高知県

慶長６年(1601年)、一豊は掛川から土佐の浦戸城に入城する予定でした。しかし、土佐では旧藩主の長宗我部盛親が関ヶ原で西軍に付いたため、帰国を許されないまま改易とされました。「一領具足」と呼ばれた半農半兵の長宗我部家の旧臣は浦戸城の引き渡しを拒否、旧藩主に旧領の一部を与えてほしいと要求して浦戸一揆を起こしました。しかし、一揆方は鎮圧され首級を273も失いました。やっと浦戸城の接収が完了し一豊は入城することができました。不穏分子を一掃するため、入城の祝賀行事と銘打って桂浜で相撲を興行し、国中から選手を招き、大勢の見物人も集めました。

一豊は浦戸一揆に関係していた一領具足や庄屋73人を捕まえて浜辺で見せしめとし、磔にしてしまいました。また、土佐藩内で掛川城主時代までの家臣を上士、地元土佐の郎党・地侍を郷士とする郷士制度を施行しました。旧長宗我部の家臣は、郷士にされ差別的待遇を受けたかもしれません。

二の丸から見た詰門と天守

天守から見た城内

そののち、高知城は1601年(慶長６年)から10年かけて、一豊によって築城されました。一度は大火によりそのほとんどが焼失した高知城ですが、1753年(宝暦３年)には、ほぼすべてが再建されています。天守も本丸御殿も江戸時代から現存しているのは高知城のみです。

◀高知城にある山内一豊の騎馬像

◀千代の銅像

一豊の出世に欠かせないのが、千代による内助の功です。逸話の中でよく知られているのが、名馬購入の話です。織田家の馬揃えのために馬を探していた一豊は、今まで見たこともないほどの素晴らしい駿馬に出会い、手に入れたかったのですがとても貧しかったので手が出ませんでした。帰宅して落ち込む夫を見た千代は、鏡箱から黄金10両を取り出し、一豊に渡しました。それは千代が嫁入りの際に親から預かった大切な持参金でした。この金で馬を購入できた一豊は、馬揃えの時に織田信長の目に留まり、出世のきっかけを掴んだといわれています。

◀大手門と天守

▶本丸御殿と天守

土佐は雨が非常に多いので、高知城には排水用の「石樋」が設けられ、石垣を守っています。

天守の下には、防御として狭間と石落としの他に忍返しなど、さまざまな仕掛けがされています。

三ノ丸の高石垣と天守

山内一豊は戦国時代の荒波の中で千代と力を合わせ上手に生き延び、立身出世し大々名になったのでした。その後、明治まで16代の藩主が土佐を守りました。ただし、第15代の山内容堂の時にはペリー来港・将軍継嗣問題・安政の大獄など大きな波が押し寄せ、第16代の山内豊範の時に大政奉還から明治へと時代が急激に転換し、高知城は廃城となりました。幕末の土佐藩では下士(郷士)の人たちが活躍しました。長年の積もり積もった不満・偏見などが強烈なエネルギーとなって爆発し、幕府を倒し維新による新しい時代へと飛び出したのだと思います。尊王攘夷から討幕、徳川幕府から明治政府へと目まぐるしい時の流れがありました。一豊と千代は雲の上から何を思い領国の人たちを見ていたのかなぁ？　　頓首

けんせつ
令和7年1月1日発刊〈第217号〉
昭和40年4月20日創刊
◆発　行／一般社団法人栃木県建設業協会　電話028-639-2611㈹
◆発行人／広報委員長　岩原正樹　◆編集・デザイン／藤﨑印刷㈱
https://www.tochiken.or.jp/

Information

［令和７年１月１日現在］

■総会員数　347社

宇都宮　75	鹿　沼　25	日　光　37	芳　賀　31	下都賀　57
塩　谷　33	那　須　42	烏　山　14	安　蘇　17	足　利　16

■代表者変更

〈鹿　沼〉板荷土建㈲
阿部　雅樹

〈鹿　沼〉高村土建㈱
川﨑　裕次

〈日　光〉㈲サンエイ工業
村上　剛規

〈下都賀〉㈱ワタナベ土木
渡邊　弘樹

〈塩　谷〉㈱猪瀬
猪瀬　和志

〈塩　谷〉㈲沼野組
沼野　浩之

■退会会員　〈宇都宮〉米弥工業㈱　　〈日　光〉㈱高橋組　　〈芳　賀〉㈱手塚土建

■お悔やみ

令和6年 5月18日	㈱新生工業	〈宇都宮〉	取締役会長	櫻井新吉 様（享年89歳）
令和6年 6月 7日	㈱鱒渕建設	〈宇都宮〉	取締役会長	鱒渕　貢 様（享年94歳）
令和6年 7月 7日	㈱高橋組	〈日　光〉	代表取締役	髙橋荘介 様（享年65歳）
令和6年 7月10日	㈱荒川建設	〈烏　山〉	取締役会長	中山　巖 様（享年76歳）
令和6年 8月13日	アズマ原総業㈱	〈宇都宮〉	取締役会長	原　榮賢 様（享年84歳）
令和6年 8月24日	㈱楯建設	〈足　利〉	取締役会長	蓼沼利夫 様（享年88歳）
令和6年 8月25日	上陽工業㈱	〈宇都宮〉	取締役会長	上野三郎 様（享年87歳）
令和6年 9月11日	㈱橘組	〈日　光〉	代表取締役	木村忠克 様（享年84歳）
令和6年11月13日	㈱乃木鈴建設産業	〈下都賀〉	取締役会長	鈴木隆守 様（享年85歳）
令和6年11月19日	高村土建㈱	〈鹿　沼〉	代表取締役	高村宏之 様（享年61歳）
令和6年12月17日	川島工業㈱	〈下都賀〉	元栃建協会長	川島祥蔵 様（享年83歳）

■編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのことお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると能登半島地震、パリ五輪、衆院選、米大統領選、大谷翔平選手のMBL初50-50達成と、様々な出来事が国内外でありました。

新政権石破首相の看板政策でもある地方創成については、私たち建設業も期待したいところです。建設業界においても働き方改革、DX、ICT施工、人材不足、資材高騰など変革期を迎えている状況かと思います。私たちも変革にチャレンジしていくことでさらに進化し、次世代の建設業を魅力ある業界にしたいと思います。

本年も新たな気持ちで広報委員会を通じて建設業の重要性、役割、魅力、進化を内外部に発信していきたいと思います。皆様にとって安全・安心な素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

（広報副委員長　小菅秀樹）

広報委員会スタッフ

担当副会長
㈱斉藤組
齋藤 和実〈下都賀〉

委員長
岩原産業㈱
岩原 正樹〈宇都宮〉

副委員長
吉栄工業㈱
吉田 亘〈下都賀〉

副委員長
友建工業㈱
小菅 秀樹〈塩谷〉

委　員
㈱半貫建設
半貫 昌英〈鹿沼〉

委　員
㈱山田組
山田 孝〈日光〉

委　員
大関建設㈱
大関 好男〈芳賀〉

委　員
㈱舘林工業
舘林 貴之〈那須〉

委　員
㈱荒川建設
中山 靖之〈烏山〉

委　員
岡田建設㈱
石澤 洋幸〈安蘇〉

委　員
三興工業㈱
山根 良樹〈足利〉

一般社団法人 栃木県建設業協会　〒321-0933　栃木県宇都宮市簗瀬町1958-1
TEL.028-639-2611㈹　FAX.028-639-2985　URL　https://www.tochiken.or.jp/

■宇都宮支部／TEL.028-636-5221
■芳 賀 支 部／TEL.0285-82-2051
■那 須 支 部／TEL.0287-22-2124
■足 利 支 部／TEL.0284-71-0044
■鹿 沼 支 部／TEL.0289-65-2020
■下都賀支部／TEL.0282-24-5420
■烏 山 支 部／TEL.0287-82-3161
■日 光 支 部／TEL.0288-54-0140
■塩 谷 支 部／TEL.0287-43-0142
■安 蘇 支 部／TEL.0283-24-3838